

2009. 6. 22

注目の価格

プラスビジョン、10万円切る電子黒板



プラスビジョン（東京都
稲城市、福島真一社長）は
シート状の電子黒板を開発
し7月上旬に発売する。希
望小売価格は9万3400
円からで、国内の電子黒板
市場で10万円を切る商品は
珍しい。政府は小学校など
に電子黒板の活用を勧めて
おり、市場の拡大が見込ま
れている。低価格化すること
と市場開拓も目指してい
る。

電子黒板はパソコンの画
面をプロジェクターで投影
して使う。専用ペンを用い
て黒板上で通常のパソコン
操作ができるほか、文字や
図を書くことができる。書
き込んだ内容を接続したパ
ソコンに反映することも可

値ごろ感打ち出し市場開拓

能。国内では教育機関によ
る需要が9割近い。

新商品「ユービック」は
厚さ0.4mmのシート状に
した。重さは1.5×2.5
mmなので折り畳んで持ち
運ぶことができる。裏面は
マグネットで黒板やステ
ール板などに張り付けられ
るので狭い場所でも使いやす
く、原材料費も安いという。

専用ペンにはスウェーテ
ンのアノト社（ルンド市）
が開発したデジタルペンを
採用した。書き込んだ文字
や図などの位置情報をペン
先から短距離無線規格「ブ
ルートワイズ」を使ってパ
ソコンに送信する仕組み。
従来品と違い、パソコンと
接続するための配線や電源
コードを無くした。

シートの大きさは56センチ
64センチ、72センチの3種類をそろ
えた。希望小売価格は9万
2400円、1万3400
円、13万4400円。ペン
先の位置情報を把握するた
めの圧力センサーなどが不
要で、コストを削減できた
という。

国内の電子黒板市場では
内田洋行がトップシェアだ
が、値ごろ感と使い勝手の
良さを売りにシェアの拡大
を目指す。